|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 学校教育目標　　自らの人生を切り開き、他者の人生に貢献できる生徒を育成する | | | | |
| 研究主題　 　探究的に試行錯誤しながらともに力を伸ばしていく生徒の育成　～振り返りの活用を通して～  ○教科主任会　◇教科会  授業研・校内研 | | | | |
|  | 中・長期のPDCA  短期のPDCA | 誰が・どのように　**（実施したら□にレ）** | **（実施したら□にレ）** | **（時嫉視したら○◇にレ）** |
| ４月 | 家庭学習の取組〔授業内容の確認・定着〕  具体的方策についての共通理解    帯タイム  分析の共有  4/18全国学調  取組確認  4/26  自校採点（～21日）分析  4/26 | □【全校研】Ｒ４研究主任会②の視聴、ICT活用  □【全校集会】校長:目的･意義、研究主任:方法説明  振り返り・家庭学習について  □【家庭訪問・PTA総会】タブレットの持ち帰り  家庭学習について  **１学期** | □中部中スタンダード  □振り返りの活用  □学調の問題を解く  □学調分析  □取組の重点の共有 | ◇スプリングセミナー視聴  教材研究のステップ  ○学調分析・取組の重点  分析のステップ  ◇取組の具体と検証の時期・場の確認 |
| ５月 | 分析の共有 | 帯･･･Ａ：4月・7月、Ｂ：５･６月  内容は前月27日までに教科主任会を経て教科担当が学年会で説明  加力･･･中間テスト1週間前Ａ、テスト後1週間Ｂのみ実施 | □授業研①（研究主任）  　スタンダードの確認 | ◇振り返りを持ち寄り協議  ◇中間テストについて |
| ６月 | 中間テスト  7/12 | □オンデマンド研究主任会は研究主任が視聴した後、管理職と協議し、全校研の計画を立てる。（研究主任） | □オンデマンド研究主任会視聴  □授業研②（1年○○） | ◇中間テスト分析・取組確認  ◇期末テストについて  ○夏休みの課題・加力 |
| ７月  単元で育成を目指す資質・能力を意識した教材研究と授業の連続　～「振り返り」を活用した授業改善～　　中部教育事務所発信の「教材研究のステップ」を活用 | 期末テスト  夏季休業中の取組の確認  タブレット毎日持ち帰り（授業とリンクした課題や自己探究学習、週末は学習ドリル、「自学マスターシート」への打ち込み・提出）    結果返却・整理分析・共有  中間検証・2学期の取組確認  7/26 | □【集会】夏休みの学習について（校長）  タブレットの活用についての確認（ICT担当）  9教科から（教科主任会で調整）、選択作文、自学・自学マスターシート、タブレット持ち帰り  □【各学級】個人面談で結果返却  家庭学習  加力学習  　　　　夏休みの学習計画に反映 | □国語授業づくり講座7/5  □授業アンケート結果協議  □1学期研修等伝達講習会 | ◇期末テスト分析・取組確認  ◇講座の学び共有  ◇振り返りを持ち寄り協議  ◇サマーセミナー参加 |
| ８月 | 帯タイム・加力学習の活用〔基礎・基本の徹底〕 | 夏休み |  | ◇サマーセミナー参加 |
| ９月 | きょ  提案：教科主任会で取組内容の決定後、教科会から提案　　実施：各学年プラス１年校長、２年教頭、３年養護教諭　　進捗確認・調整：研究主任  帯タイム  加力学習 | 2学期  帯･･･Ａ  朝は10分プリント、帰りはデジタルドリル（金曜日は確認テスト）  加力･･･Ａ：10月・11月、Ｂ：９月・12月  定期テスト発表後1週間は教科別教室開催 |  | ◇サマーセミナー参加  ◇振り返りを持ち寄り協議  ◇中間テストについて |
| 10月 | 中間テスト |  | □授業研③（3年○○）  □社会授業づくり講座10/25 | ◇中間テスト分析・取組確認  ◇オータムセミナー視聴  ◇講座の学び共有 |
| 11月 |  |  | □授業研④（2年○○） | ◇振り返りを持ち寄り協議  ◇期末テストについて |
| 月 | 期末テスト  12/22  ３学期の取組確認  共有  自校採点（～12日）・分析  県版調査 | 教科会で分析後、教科主任会で整理し今後の取組について協議  ⇒教科会で加力・家庭学習・今後の取組協議  ⇒教科主任会で整理  □12/22職員会で共有、学年の取組確認（研究主任） | □２学期研修等伝達講習会  □授業アンケート結果協議 | ○◇県版分析、今後の取組  ◇期末テスト分析  ○◇加力学習について、冬休みの課題について、3学期の取組に向けて |
| １月 | 帯タイム  加力学習 | □【集会】県版調査より、学年末までの学習について（校長）  □【学年】学習面談（学年）  3学期  帯･･･Ａ：1月、Ｂ：2月・3月  加力･･･Ｂ（金曜日は自由参加） |  | ◇振り返りを持ち寄り協議  ◇ウィンターセミナー参加 |
| ２月 | 結果返却・整理分析・共有  期末テスト  春季休業中の取組確認  年度末検証  家庭学習  加力学習 | 春休み  家庭学習  ・学習ドリル・単元テスト各教科10枚  （各教科必修5枚と学習面談後生徒選択5枚）  ・2月中に提出、教科主任会で検討  ・説明、選択、計画（学級担任）  ・提出確認は新学年団、内容の確認と指導は教科担当  加力  ・計画確認（学年）  　個別支援（必要に応じて教科担当等への協力依頼） | □各教科の「1年間の学び」の作成について  □授業アンケート結果協議 | ◇ウィンターセミナー参加  ◇○成果と課題  ○◇加力、春休みの課題 |
| ３月 | 次年度の校内研究計画の作成 |  |  | ○次年度に向けて  ◇スプリングセミナー視聴 |
| ４月 | 全国学調 |  |  | ○本年度の取組確認  ◇スプリングセミナー視聴  ◇授業づくりの確認  ◇春休みの課題の確認 |

帯（8:15～8：30、15:45～16:00）　　　　加力学習（16:20～16:50）　　　　 夏期・冬期・春期休業中の加力学習

**令和５年度　中部中学校　学力向上ロードマップ**

12

様式を活用した作成の一例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ａ | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 朝 | 国 | 英 | 英 | 社 | 英 |
| 帰 | 英 | 数 | 数 | 英 | 数 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月日 | 時間 | 内容 | 担当 |
| 7/27～31 | 13:00～15:30 | 国、社、数、理、英　各1日 | 教科、学年団（　　　　） |
| 7/27～31 | 15:30～16:45 | 自主学習時間として解放 | 支援員 |
| 8/28～31 | 13:00～15:30 | 数学2日、英語2日 | 教科、学年団（　　　　） |
| 12/25～27 | 9:00～12:00 | 国、数、英　各1日 | 教科、4年団（　　　　） |
| 1/5 | 9:00～12:00 | 英・数 | 教科、4年団（　　　　） |
| 3/25～29 | 9:00～12:00 | ドリル学習 | 支援員、ボランティア |
| 13:00～15:30 | 課題別プリント | 支援員、ボランティア |
| 15:30～16:45 | 個別支援、自由解放 | 該当教科、支援員　等 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ａ | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 1年 | 国 | 英 | 週の確認・ドリル（支援員） | 理 | 数 |
| 2年 | 英 | 理 | 数 | 英 |
| 3年 | 社 | 数 | 英 | 理 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｂ | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 朝 | 国 | 社 | 数 | 理 | 英 |
| 帰 | 国  Ａ･･･帰りはデジタルドリル | 社 | 数 | 理 | 英 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| Ｂ | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
| 1年  2年  3年 | 国語教室 | 英語教室 | ドリル | 数学教室 | 自己選択 |
| 担当 | 国語 | 英語 | 支援 | 数学 | 支援 |